

日本共産党市会速報

NO.171号

2017年3月20日
発行 日本共産党摂津市会議員団
〒630-0808 (333) 1-1111 ON(090) 0007-
内線(333)441-3334(6)
メール info@settsujcc-web.net

森山市政4期目の本格的なスタート

(予算議会は2月20日から3月29日まで行われます)

昨年引き続き公共料金の据置、来年度に22歳までの医療費助成の表明など市民の願い実現、一方で、公的責任を弱める委託の拡大(新たに学童保育と学校校務員の民間委託、小学校給食委託で5校目)。

2月20日から森山市政4期目スタートとなる第1回定例会が行われています。日本共産党は、この間新年度予算に対して174項目の要望書を市長等に提出し、2回の懇談会を通じて、自治体としての公的責任をきちんと果たすこと、そして大阪府内でも豊かな財政力を生かし、市民の暮らしを守り、支える事を求めてきました。結果、2年連続公共料金の据置をはじめ、22歳までの医療費助成(高校卒業迄は所得制限なし)を来年実施するとの発言、要支援の方々への介護保険サービスについては本年度は現行通り実施させること、各小中学校への洋式トイレ設置(本年度3校)等々、市民の

願いが実現することになります。しかし一方で、市役所の責任を弱める行革の推進(新たに学童保育と学校校務員の民間委託、小学校給食委託で5校目)をはじめ、高齢者インフルエンザ予防接種自己負担の500円引き上げ、市内5カ所の市民サービスコーナーの廃止など、市民にとっての後退面も提案されています。日本共産党は、今議会ではひろ豊議員が代表質問に立つとともに、委員会審議を通じて、北摂一高い上下水道料金の引き下げをはじめ市民の願い実現に全力尽くします。

日本共産党摂津市会議員団

- 格差と貧困をただし、市民の暮らしを守る姿勢について
 - (1) 政府予算案とアベノミクスに対する市長の認識について
 - (2) 府内で最高クラスの財政力を市民の暮らしに生かすことについて
 - (3) 子ども医療費助成の対象年齢拡大と大阪府の福祉医療改善の動向等について
 - (4) 北摂一高い上下水道料金を引き下げることについて
- 医療・介護・福祉充実のまちづくりについて
 - (1) 国民健康保険料の負担を軽減し、大阪府による「統一化」の中止を求めることについて
 - (2) 介護保険制度及び、高齢者・障害者施策を充実することについて
 - (3) 親身な市民相談、セーフティネットの体制を拡充することについて
 - (4) 大阪府三島救命救急センターの移転計画と市の立場について
- 中小企業の営業、労働者の権利を守る施策について
 - (1) 「摂津市中小企業・小規模企業振興条例」をつくることについて
 - (2) 住宅リフォーム助成制度の創設について
 - (3) 市が発注する公共工事や業務委託で働く労働者の賃金保障を契約に盛り込むことについて
 - (4) 市内企業へ雇用ルール遵守と正規雇用の拡大を促すことについて
- 子育て・教育の充実を図ることについて
 - (1) 保育の質を守り、待機児童ゼロに向けて市が責任を果たすことについて
 - (2) 小中学校全学年での35人学級を目指すことについて
 - (3) 中学校給食を自校調理・全員給食へと改善させることについて
 - (4) 就学援助制度の認定基準の引き上げと、支給費目及び支給額の拡大、新入学用の学用品費の支給時期を早めることについて
 - (5) 学童保育の民間委託計画を中止し、内容を充実することについて
- 安全で便利なまちづくりについて
 - (1) 地盤沈下につながる新幹線鳥飼車両基地における地下水汲み上げをやめさせることについて
 - (2) 公共施設の耐震化100%の実現と防災施策の強化について
 - (3) 公共施設巡回バスを増便し、小型ワゴン(小セッピー号)を走らせることについて
 - (4) 太陽光発電などの自然エネルギーの促進を図るとともに「原発ゼロ」に向けて働ききかけていくことについて
 - (5) 市民サービスコーナーの廃止を撤回することについて
- 市民みんなでつくるまちづくりについて
 - (1) 政策形成過程から情報公開を徹底し、より市民の声を市政に取り込むことについて
 - (2) 公共施設等総合管理計画とまちづくりについて
 - (3) 憲法を守り人間を尊重する平和都市宣言都市としての取り組みについて
 - (4) DV・セクハラ・児童虐待・LGBTへの差別などあらゆるいじめや暴力の解消について
 - (5) 道徳の教科化の動きと人間基礎教育について

ひろ豊議員の代表質問【2番目】3・6(月)午前中

日本共産党
5人の議員団



野口 ひろし



坂野 かずひろ



山崎 まさひろ



ひろし



増永 わかな